

環境省事業の実施状況について

環境省では、「石西礁湖自然再生事業環境省事業実施計画」に基づき、モニタリング調査、サンゴ群集修復事業、オニヒトデ駆除事業、陸域負荷対策との連携、持続的な利用に関する対策および意識の向上・広報啓発等の事業を実施している。

<運営事務局>

○令和2年度第1回自然再生専門家会議

「自然再生推進法（平成14年法律第148号）」第17条第1項及び第2項の規定に基づき、専門家の意見を聴くため、令和3年1月29日にオンライン開催された令和2年度第1回自然再生専門家会議に土屋会長、吉田副会長とともに出席し、令和2年3月に変更を行った「石西礁湖自然再生事業環境省事業実施計画」について報告を行った。

なお、本会議の配付資料、会議録等は環境省ウェブサイト「自然再生推進法」のページ (<https://www.env.go.jp/nature/saisei/law-saisei/>) で公開されている。

⇒参考資料4

<事業実施者>

○石西礁湖サンゴ群集モニタリング調査

令和2年度は、新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止措置のため、例年と下記の変更が生じた。令和3年度は、例年どおり実施中であり、さらにサンゴの調査に合わせて栄養塩類に関するサンプリングの試行も行う予定をしている。

- ・ 定着板の設置ができなかったことから「サンゴ幼生の定着量」不実施
- ・ 海洋観測モニタリングブイの観測機器の交換ができなかったことから、水温、塩分、クロロフィル、濁度、流行、流速、波高について最大4か月欠測
- ・ 各種調査の実施時期を後倒し（「スポットチェック法による白化等調査」は6月と9月予定から9月と12月に延期）

⇒資料3-2

○石西礁湖サンゴ群集修復事業

これまでの結果を踏まえ、大規模な白化現象が再び発生しても有効性を失わない事業を目指し、①幼生の供給量（源）を増やす（受精効率を高める）こと、②幼生が着生しやすい基盤を整えること、③サンゴ群集の回復力を維持、強化させることの3点を主眼に、令和2年度に事前調査（適地選定）と計画策定を行った。令和3年度から現地試験を開始している。

⇒資料3-3

○オニヒトデ監視駆除

令和2年度（令和2年7月9日～令和3年3月17日）の総駆除数は、39匹であった。実施した海域、実施日数及び駆除した個体サイズ内訳は、下表のとおり。

平成31（令和元）年度まで石西礁湖内のみであった実施対象範囲を、石垣島周辺海域も含むよう広げて行った。局所的な発生は見られたものの、全体としては健全な生息数であった。（参考：総駆除数は、平成30年度が34匹、平成31（令和元）年度が14匹であった。）

表 サイズ別駆除数（匹）

実施海域	日数 (日間)	稚オニヒトデ (直径1cm未満)	直径20cm 未満	直径20～ 30cm	直径30cm 以上
1. 底地ビーチ沖周辺	6	0	3	5	13
2. 米原Wリーフ周辺	5	—	1	3	4
3. 崎枝周辺	5	0	1	2	0
4. 名蔵湾北	4	—	1	0	0
5. 富崎周辺	2	0	0	0	0
6. 竹富タキドングチ	6	0	2	1	0
7. 北礁三ツ石	3	—	0	0	0
8. 竹富南西	4	0	1	0	0
9. 竹富南	2	—	0	0	0
10. カタグアウーロングチ	3	—	1	0	1
計	40	0	10	11	18

○部会長の任期

令和2年2月の第26回協議会で選出された部会長および副部会長については、2年の任期を迎える令和4年2月開催予定の第29回協議会において再選出されるスケジュールであるが、委員、会長、副会長と任期を揃えるために約半年延長して、令和4年7月開催予定の第30回協議会において次期部会長、副部会長を決定することとしたい。

<海域・陸域対策部会>

部会長：吉田稔委員（八重山サンゴ礁保全協議会）

副部会長：小林俊介委員（公益財団法人WWF サンゴ礁保護研究センター）

<普及啓発・適正利用部会>

部会長：大堀健司委員（エコツアーふくみみ）

副部会長：小林俊介委員（公益財団法人WWF サンゴ礁保護研究センター）

<学術調査部会>

部会長：中村崇委員（琉球大学）

副部会長：鈴木豪委員（国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所）

○所属部会の登録

協議会委員の所属部会登録を行い、より積極的に部会活動を行うこととしたい。登録作業は、MLを通じて照会を行い運営事務局がとりまとめるほか、登録内容の変更については、連絡先などと同様、運営事務局へ連絡することとする。なお、運営細則に定めている各部会の協議事項は下記のとおり。

<海域・陸域対策部会>

海域におけるサンゴ礁攪乱要因、陸域及び河川由来の海域攪乱要因への対策を効果的に進めるために必要となる事項とその実施状況等。

<普及啓発・適正利用部会>

石西礁湖の自然環境について普及啓発及び、自然再生と地域住民の生活に必要な活動との両立を進めるために必要となる事項とその実施状況等。

<学術調査部会>

石西礁湖の自然再生状況の整理及び新たなサンゴ礁攪乱要因への対策を進めるために必要となる事項とその実施状況等。